

# 『推しの争い』

荒木桜子

あなたは母と推し同士のために争ったことはありますか。2018年に1巻が発売されて2020年後半にアニメ化した呪術廻戦、そしてすでに第3期のアニメが制作決定して呪術廻戦はとてつもない人気JUMP作品で子供から大人まで楽しめる内容が少しグロテスクなものを含め呪霊と呪霊師の長いバトル漫画です。そんな中ある日私は母と私の推しか母の推し、どちらがより魅力的かを争いました。ネタバレはもちろん良くないことだと認識しネタバレをしないように話すとまひとという悪キャラが私の推しでした。その反対私の母まひとを死んでも地獄まで追いたい五条悟という人が推しでした。ここで争いが始まります。どちらの推しの方が可愛く、かっこよく、ギャップなど魅力があるかを言葉争いを繰り返すこととなります。

この発端は些細な日常会話で何気ない違うアニメの共通の推しのお話をしている呪術廻戦の話になった時やはり真逆の役の推しのお話を始めるとヒートアップしてきちゃいます。元々アニメというのは完璧、美しい、そして可愛いをもったギャップ萌えのキャラが多すぎてそれが悪役にも適応されてしまうのが悪いのです。推しはかっこいいから好きです。推しはギャップがあるから好きです。もちろん五条さんもギャップがあり惚れ要素も山ほどありますがそれはまひとも一緒にギャップ、可愛いところもありイケメンなどところもあり惚れるところもたくさんあります。ここでアニオタである皆さんが必ずしも一度は思うことはなぜ悪キャラも正義キャラとキャラ被りなど魅力を同じように入れるのでしょうか。それは人気投票でも出てくる回数が多いキャラは投票の数が似てないとグッズがでない、一部の民が叩かれてしまうのです。

最終的には母とは数週間話し合い、推しのいいところをプレゼンしあったりなどしました。違う表現をすると推しのマウント勝負です。それにより私も相手もお互いのいいところを知り増田。五条さんの場合意外と五条さん顔と中身にはすごいギャップがあり。もちろん顔は整っていてイケメンなのですが小さい頃から教育を受けすぎてて高校に入っても自分人一倍強すぎてつまらなく精神年齢が小学生並みになり青春を謳歌している姿が可愛いというギャップがありそこを私は頑張って認めています。もちろん相手も私のまひとが精神年齢がとても低く、なのに仲間思いで頑張って生き延びようのしている生き様がとても可愛いことをちゃんと理解してくれています。

そしてこの対立の経験を得てから学んだことはやはり争いは小さい日常的な争いから始まるということです。いつもの関係が一生幸せに続くわけではないと、日々その人と一緒に楽しくいれることを感謝しなさいということです。こんな些細なことで一度菅家が崩れてしまったのです。人とは仲良くお互いも認め合いたいです。